学校番号	３０１８

令和8年度　工業科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	6単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・課題研究は、2年間学んできた造形基礎科目や領域選択などで身に付けた知識や技術を組み合わせ、一つの専門領域に取り組むものである。
・単に一年間かけて制作をするというのではなく、港南展(卒業制作展)での展示発表を見据えた工程管理、制作の意図や制作にまつわるエピソード等のプレゼンテーションにも取り組む。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
選択した専門領域の基礎を学び、これまでの学習により身に付けてきた知識と技術を活用させ、自ら設定した主題を表現する。
【思考力・判断力・表現力】
選択した領域の専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成する。自らの制作の意図や考えをまとめプレゼンテーションする。
【学びに向かう力、人間性等】
造形に関する基礎基本を積極的・主体的に身に付け、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形作品などの表現の工夫や造形文化などを理解している。また、造形芸術について自分なりの意見や考察ができている。 選択した専門分野に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。	目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。制作意図に応じて、創造的に表現方法を工夫している。	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。 自主的・継続的な学習を通じ、造形に関する探求的・創造的な能力を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">年間</td><td rowspan="4">単元の分け無し</td><td colspan="2">全体オリエンテーション
専攻別オリエンテーション
各自研究テーマの設定
日程管理・計画表の提出

構想・エスキース、材料用具の購入計画

下描き・コンセプトボード・習作等の制作

第 1 中間発表会(専攻別)</td><td rowspan="4">a: 選択した専門分野に関する基礎的な知識や技能を身に付け、意図に応じて、創造的に表現方法を工夫している。

b: 作品のテーマを自ら設定し、様々な表現方法を創意工夫し、目的を達成しようとしている。

c: 造形に関する興味関心を持ち続け、より専門的な知識や技能を得ようとしている。
また、プレゼンテーション大会や港南展に積極的に関わり成果を上げようとしている。</td><td rowspan="4">学習状況の観察

作品

アイディアスケッチ</td><td rowspan="4">学習状況の観察

作品

成果物

発表</td><td rowspan="4">学習状況の観察

作品

成果物

発表</td></tr>
<tr><td>本制作</td><td>港南展(課題研究発表会)実行委員会立ち上げ

港南展レイアウト等検討

港南展ポスターDM等の検討・製作

会場視察
キャプション決定</td></tr>
<tr><td colspan="2">第 2 中間発表会(全専攻)

最終発表会(専攻別)

港南展搬入・会期・搬出(全専攻)
専攻別総括</td></tr>
</table>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度